

# フィルターユニットエコグリーンの施工事例

ここでの仕様(タイプ)は、旧規格の 型・ 型を含みます。エコグリーンはこれらの後継タイプです。

根固め	 <p>護岸の前面に根固めとして、袋体単独で使します。設置方法は層積み・乱積みがあります。</p>	<p>宇治川(京都府)</p>  <p>10年後</p> 	 <p>根固めブロックの上部に袋体を使します。覆土を行い植生基盤として使用する場合があります。</p>	<p>江の川(島根県)</p> 	 <p>根固めブロックや被覆石の下部に使することで、吸出し等による沈下から上部の構造物を安定させます。</p>	<p>高尻川(島根県)</p> 
	 <p>木工沈床やその他の工法の内部や前後に設置し、他工法との協調効果を期待します。</p>	<p>霧ヶ浦(茨城県)</p>  <p>3年後</p> 	 <p>かごマットや土のう、矢板等の前面に設置することで、護岸等を安定させます。</p>		<p>鶴見川(神奈川県)</p>  <p>1年後</p> 	<p>鯖石川(新潟県)</p> 
橋脚根固め	 <p>橋脚の周りに袋体を設置。洗掘箇所にそのまま投入する場合があります。</p>	<p>碓氷川(群馬県)</p>  <p>3年後</p> 		<p>新羅川(岐阜県)</p> 	 <p>橋脚の周りに袋体を設置し、上部にブロックを設置。袋体によりブロックの沈下を抑え、長期的に安定させます(流速が速く、転石がある箇所にはブロックの下部での使用となります)。</p>	<p>利根川(群馬県)</p> 
	 <p>勾配が1:2以下(急)になる場合に階段状に積上げて使します。</p>	<p>飯盛川(埼玉県)</p>  <p>3年後</p> 	 <p>勾配が1:2以上(緩やか)になる場合に平張りで設置します。</p>	<p>足羽川(福井県)</p>  <p>1年半後</p> 	 <p>勾配が1:1~1:2程度の勾配で、法長も比較的小さい場合に斜めに積上げます。</p>	<p>里川(茨城県)</p>  <p>4年後</p> 
護床/その他	 <p>河床に袋体を敷設します。注) 隙間なく敷設するためには、中詰め材の粒径を細かくする事が望まれます。</p>	<p>串川(神奈川県)</p>  <p>1年半</p> 	 <p>転石がある場合や流速が早い場合は、ブロックと組み合わせて使用し、ブロックの沈下を防ぎます。</p>	<p>粟野川(山口県)</p> 	 <p>ブロックなどの隙間に設置したり、護岸工端部の摺り付けなどに使します。</p>	<p>多摩川(神奈川県)</p> 
	 <p>被災箇所に袋体を投入し、浸食を防止します。なじみが良いため追加投入も行えます。</p>	<p>武庫川(兵庫県)</p> 	<p>波川海岸(岡山県)</p> 	 <p>袋体でマウンドを形成し、橋脚工事などの仮設道路として使えます。</p>	<p>三国湾(福井県)</p> 	<p>犀川(長野県)</p> 
裏込め/その他	 <p>水制工などの裏込めとして使用し、表にブロックなどで被覆します。袋により内部を安定させます。</p>	<p>渡良瀬川(群馬県)</p> 	<p>琵琶湖(滋賀県)</p> 	 <p>中詰め材には、コンクリート塊を使用することが出来ます。また、水質浄化のために、ポラスマテリアルを使用した例もあります。</p>	<p>中詰め材:コンクリート塊</p> 	<p>中詰め材:石炭灰</p> 
	<p>五十鈴川(三重県)</p> 	<p>中詰め材:木炭</p> 	<p>中詰め材:自然石</p> 			